

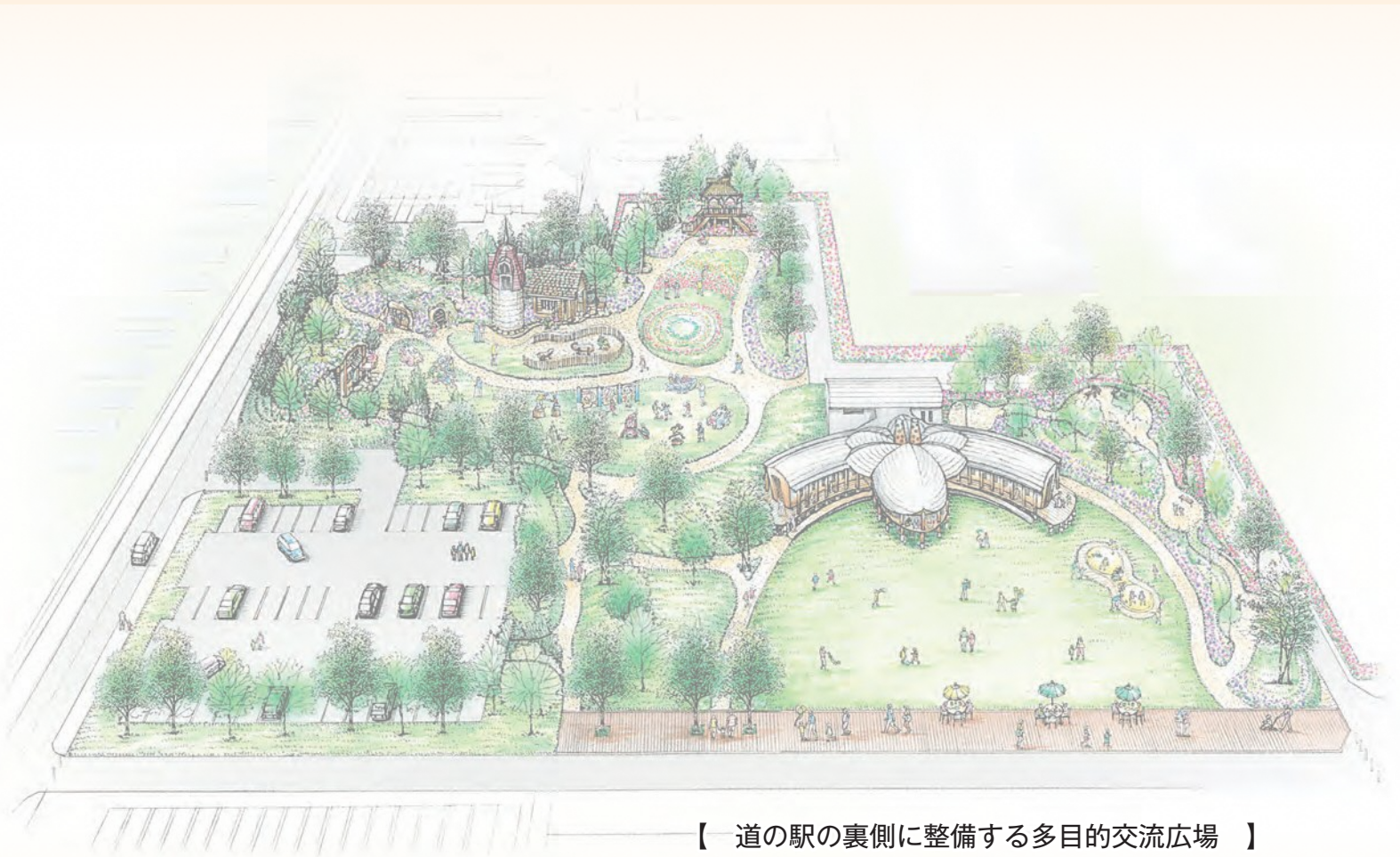


いいたて

議会だより



発行：福島県飯舘村議会
編集：議会広報編集特別委員会



【 一道の駅の裏側に整備する多目的交流広場 】

議案審議「ザ・議論」 2～3

深谷地区復興拠点多目的交流広場着工

一般質問「村政ここが聞きたい!!」 4～12

第6次総合振興計画に着手、村民の足の確保検討

審議結果 13～15

議会の動き・常任委員会活動・編集後記 16

ザ・議論

4月臨時会では予算案件4件、条例案件2件、その他案件7件。

5月臨時会では契約案件6件。

6月定例会では予算案件5件、条例案件4件、その他案件3件を審議、議論が交わされました。

その議論の一部を紹介します。

《契約等承認》

5月臨時会

深谷地区多目的交流広場整備工事請負契約について

質問 深谷地区復興拠点エリア多目的交流広場の維持管理費をどのくらい見込んでいるのか、また、財源はどこからか伺う。

答弁 運営の方法、従業員数や植栽の管理などにもよって変わってくると思いますが、ランニングコストは将来心配になるので、出来るだけコストのからない様な維持管理方法を竣工までには検討して行きたいと考えております。

深谷復興拠点備品(ブロンズ製ベンチ)の取得について

質問 公園内に設置されるブロンズのベンチですが3月議会では、2基必要だと言ったことで議論し予算を議決したが、なぜ、今回1基での契約になったのか伺う。

答弁 ブロンズ製のベンチと言うのはどこにもある訳ではないので、そういう意味では2つぐらいあっていいのではないかと思ったりしていましたが、色々なご意見があるようです。から1つにさせていただきました。

ベンチは1つにしましたが、また何かしらの形で皆さんに喜んでもらえるようにしたいと考えております。

しっかりと良いものにしていきます。

質問 このブロンズの

ベンチ決定するまでにどのようなプロセスがあったのか伺う。

答弁 プロセスは何もありません。

ベンチは公園には必ずありますが、美術品の椅子はそうそうございませぬ。それが飯館村にあることである。ろな形でプラスになっていくのではないかと思っています。

質問 美術品や芸術品を決めるときに、協議会等を立ち上げて決める方が良いのではないかと、何のプロセスもなく、すでに決まっていたと言うことか。

答弁 どのような協議会を考えているかわかりませんが、芸術品、美術品に協議してイエス、ノーという話ではないと思います。それぞれの感じ方の中でこれは良いとなれば、少なくとも私(村長)の

《補正予算》

6月定例会

13区営農組合に対する支援について

質問 被災地域農業施設等整備工事の内容について伺う。

答弁 13区営農組合は7戸の農家で構成され、農業法人を設立して飯桶地区周辺、100ha余りの農地を集積し水田営農を行うという組合を支援するものです。内容として機械整備施設2941万4000円、備品関係4億7630万4000円であり、ホイル型トラクター3

台、クローラ型トラクター4台、ドライブロー、ブロードキャスター等です。

風疹抗体検査にCS2

質問 委託料として風疹抗体検査のクーポン作成業務とあるが、クーポン委託から接種までの流れについて伺う。

答弁 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの17年間の方の風疹抗体検査です。2段階に分かれており、1年目が昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に対して受診券を送付(対象者228人)、2年目は昭和37年4月2日から昭和47年4月1日生まれの男性(対象者287人)について風疹抗体検査を実施するものです。流れとしては、病院で抗体検査を行い、抗体がなければ



▲修繕を待つ「まδειな家」

その病院で予防接種を受けて頂きます。

CSN
まδειな家修繕に

質問 まδειな家の修繕工事の明細について伺う。

答弁 役場の西側にあ

る、まδειな家の外壁、内装の修繕です。

太陽光発電の株式
配当金にCSN

質問 北風と太陽基金の収益、運用のあり方、これまでの支出の内容は。

答弁 北風と太陽基金元金4000万円の積立金であります。令和元年度のまδειな再エネ発電(株)からの配当金であり、基金に積み立てるということであります。

運用については年度当初4億2000万円から7500万円取崩しております。4億2000万円の原資は再生可能エネルギー、大

火山、深谷の太陽光発電等となっております。復興拠点関連事業に充当しております。

《条例改正》

飯館村国民健康保険
除税条例の一部を
改正する条例につ
いて

質問 原発事故が起きて負担軽減がされてきたが、同じような自治体との比較はどうなのか。

答弁 平成30年度モデルケース一世帯当たりの保険税は、相双管内で一番高いのが62万3300円、飯館村は56万8400円で相双管内の町村で4番目に高い金額であります。

質問 被災者支援として減免が実施されているが、固定資産税との

見直しは。かわりでのこの先のか

答弁 近隣市町村の実態が全てわかっている訳でなく詳しくは申し上げられませんが、大きくは変わらないと思っております。資産割については、昨年資産割を廃止し、所得割と平等割に課税になっており、県内の59市町村と比較したところ、昨年度で資産割を用いている市町村は6市町村であります。今後の見通しについては、村としては今の流れからすると、今後も資産割は設

けないという方向と考えております。

災害援護資金に
CSN

質問 災害援護資金の貸し付けはあるのか。

また、保証人がある場合は無利子となっているが、年齢制限はあるのか。

答弁 最低150万円から最高350万円、住宅が全壊した場合は350万円という貸付金の限度額が設定されており、村での貸付はゼロであり、また、保証人の年齢制限は特にございません。



議会を傍聴してみませんか

氏名の記入など簡単な手続きで傍聴できます。是非お出かけください。

※尚、タブレット・パソコンでも議会中継が視聴できます。

ズバリ 村政

ここが
ききたい!!

一般質問 Q&A

6月定例会の一般質問には8議員が登場し、村行政の考えや対応策について問いました。質問順に質疑応答を要約し掲載します。

佐藤 八郎 議員……………P 5

- 1 自然環境の変化について
- 2 村民の意見、実態無視について
- 3 避難解除と村民生活について

佐藤 健太 議員……………P10

- 1 第6次総合計画について
- 2 学校教育について
- 3 高齢者支援について
- 4 特別養護老人ホームについて
- 5 農業の基盤整備について
- 6 道の駅について

渡邊 計 議員……………P 6

- 1 郷土芸能について
- 2 運転免許証自主返納について
- 3 方向性物質の低減について
- 4 放射線量マップについて

高橋 和幸 議員……………P11

- 1 農業・畜産業の実状及び課題について
- 2 林業再生に向けた課題について
- 3 農林業・商工業の完全復活に向けた取り組みについて
- 4 協定している大学及び企業等との成果について
- 5 防犯及び有事の際の対応について

佐藤 一郎 議員……………P 7

- 1 総合振興計画について
- 2 移住・定住・交流に係る「関係人口」について
- 3 ゴミ処理について

高橋 孝雄 議員……………P12

- 1 有害鳥獣駆除隊員の委嘱について
- 2 持主のいない荒廃した建物の解体について

相良 弘 議員……………P 8

- 1 働き方改革に伴う対応について
- 2 連休中の「までい館」の対応について
- 3 帰村者の村内交通対策について

長正 利一 議員……………P 9

- 1 携帯電話不通話地域解消について
- 2 公用車への燃料補給スタンドは、どのように決めているのか
- 3 おかえりなさい補助金について

※一般質問とは

議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等について村の執行機関などの見解や取り組みについて質したり、提案・誘導していく政策議論です



佐藤 八郎 議員

質 事前通告と本日の質問になぜきちんと答えられないのか

答 わかる範囲とできる範囲で誠意をもって答えています

質問 放射線業務の規制の為の電離則についてなど質問していない。今でも放射能が放出されているので、国の安全基準値は事故前と事故後でどう変えられたのか。

答弁 原発事故後、除染電離則が定められました。緊急事態として20mSv/y未満としたが、村内の実態、実測

値はいくらで、情報のつかみ方と村民へのお知らせ方法はどのように行っているのか。

答弁 国際放射線防護委員会が緊急時の対策として年間20~100mSv/yの範囲で状況を考慮して避難指示の基準を決定するように勧告し、日本政府が20mSv/yを避難指示の基準として採用しており、村もそのようにさ



▲除染廃棄物

せていただいております。この8年間、各行政区の放射線測定値についてはお知らせ版や冊子でお知らせするよう努力してまいりました。

質問 村に降散した物質は何か。国が発表している31核種はどんな物質で、動植物への毒性はあるのか。

答弁 国の情報によりますと原発事故により拡散された放射性物質は31核種との事ですが、

村で確認している核種は2種類です。毒性については国、県の見解はありません。

質問 避難指示されるまでの説明会の回数、種類と依頼した講師と説明内容を示せ。

答弁 講演会や座談会を4回実施しております。講師は高村氏、山下氏、杉浦氏です。いずれの講演会や座談会も放射能に対する健康不安を少しでも取り除けるようにとの思いから開催しました。

質問 村民の命、健康第一の行政執行が基本なのに、危険かどうかの調査と情報収集、実態把握など、無視した状態であった。

答弁 情報収集・実態把握を無視した健康対策はしておりません。村としては今までに放射線の影響で病気になるという事例は把握しておりません。

村民に寄り添ってというが、何故、国、東電とついでに済むのか

質問 国、東電の立場になって、村民の声、願いに生かすよりも、マスクミ優先で進めたのはなぜか。

答弁 常に村民の声を聞き、村民の思いを汲み入れ、村民の立場に立って進めてきております。加害者やマスクミ優先で進めてきたつもりはありません。

質問 原発事故の被災地支援のもとに、国、県の職員が入村して、村長との協議優先で進めた。

環境省、農林水産省、経済産業省、復興庁、県など、何処から何名、支援に入ったのか。

答弁 村に内閣府が設置した現地対策室に、各省庁から5名の職員、県からは3名を配置していただきました。その後も経済産業省

から2名、復興庁から1名、県から1名であり、この方々は国、県の指示で村を動かせるために入っているものではなく、復興再生の職務の為に入っています。

質問 村長のすすめる、幼小中の子供、産業振興、商工業など、経済、環境、憲法上の権利、補償の点で村民の家族が帰村できる環境、安全・安心な生活を村民にきちんと示せ。

答弁 村に帰る、帰らないについては、個々の生活設計を尊重しなければなりません。現在、村のこども園・学校には110名の子供達が通っております。

農家や企業に4分の3事業に村の5%かさ上げなどで支援してきました。

村民が安心・安全な生活ができるよう、村として出来るだけの支援策を検討して参ります。



渡邊 計 議員

質 運転免許証自主返納者に
対して奨励・支援制度を
設置すべき

答 まず村民の足の確保をした
上で返納者へ対応したい

質問 昨今、毎日のように高齢者の自動車事故が報じられている。勇気をもって自主返納した人に対して奨励支援制度を設けるべきと考えるが対応を伺う。

答 質問をいただいた内部で大変真剣に検討いたしました。足の確保をできるだけの上で、返納者にどう対応するかを考えること

いか。
答 村内で使えるならば大いに結構だと思いますので至急検討させていただきます。

郷土芸能について

質問 震災前の状況と現況について伺う。

答 平成22年度の県の調査の際は34団体の報告しております。現在は9団体が活動しております。

質問 9団体の内容は。

答 大倉・宮仲・赤坂の神楽、大倉・飯桶町・小宮の田植え踊り、比曾の三匹獅子舞、宮内の宝財踊り、外内の手



▲長い歴史のある郷土芸能
是非伝承していただきたい
小宮行政区の田植え踊り

踊りが震災以降何らかの発表をされてきました。
質問 保存・継承のための取り組みについて伺う。

答 村の文化祭やイベント等、発表の機会を多く設けることも検討していきたいと思っております。又、一度休止しても復活させるときの参考資料としての「記録保存」を行っており、小宮の田植え踊りについてはDVDに記録済みです。

質問 震災前は同じ行政区内なのですぐに集合できたが現状では村

外から集まることで、交通費や日当など費用弁償等の経費が掛かる。現在補助金等はどうなっているのか。又、今後の支援策について伺う。

答 文化祭で2万円位の出演報償は出しているが活動補助金は出していません。

ただ、経費が掛かるなどのことなので県や村など公の場合は報償費等での支援は検討させていただきます。

放射線量マップについて

質問 より詳細な歩行サーベイの線量マップを製作すべきと考えるが行政の考えを伺う。

答 短期間での放射線量に大きな変動は見られないことから個人積算線量計に移行していきます。

質問 積算線量はその人の活動状況によって

線量が違っていているが村内にどれだけ放射線が残留しているかに関して記録として残せるものか。

答 村の記録として使えるものとは思っておりません。したがって今年度予算は取っておりませんが何年かに1回は面的な線量を計測する必要があると考えております。

質問 詳細な線量マップを残すことは放射能被害にあつた我々の責務である。国100%の予算であるならば是非作るべきである。

答 国へ予算を要求し、予算が付くようならば、2、3年に1回の事業実施を検討したいと思っております。

提言 放射能に対して必要なことは無用な被ばくをしないことである。その為にも線量マップは必要である。



佐藤 一郎 議員

質 総合振興計画について

答 6次総合振興計画では「心の豊かさ」「村の自然や人々素晴らしい」「チャレンジすることの大切さ」「人生の面白さ」などを実感出来る様な振興計画を作っていきたい

質問 総合振興計画策定にあたり歴代の計画を肯定した「継続的」「計画的」で前向きな総合振興計作りが必要になると思う。また、山田村政の時のように「道路をつくる」「農業基盤をつくる」「所得を上げる」と村民に分かりやすく明確に、村の目指

すべき方向と日程を打ち出すべきだと思いが村の考えを伺う。 答 昭和59年1月に策定したのが第3次総合振興計画です。キャッチコピーは「緑とふれあいの村」ということで、「住みよい生活舞台の建設」「産業の活力推進と所得の安定」「健や

かで心豊かな地域づくり」を柱にしながら飯館村センター地区整備を進めたということですが。平成6年9月に策定されたのが第4次総合振興計画で「優しさ



▲第3次総合振興計画でつくられた役場庁舎

と活力あふれるクオリティ・ライフいいたてで、「新しい農村社会の創造」「潤いのある生活と環境創造」「活力ある新しい産業の創造」を施策の柱として地区

「いたわり合いと支え合いの優しい笑顔と心満ちあふれた村」「体と大地の命・健康を支える循環型の村」「まideaな暮らしを支える舞台や仕組みの整った村」「農

別計画が盛り込まれませんでした。平成16年6月に第5次総合振興計画を策定し、「まideaライフ」ということで「感情豊か自立心のある共育」

的な暮らしとともにいいたて流の産業が息づく村」「二人一人が生き方や暮らしに誇りを持ち笑顔にあふれた村」を将来像として、「任せ村づくりからかわるむらづくり」をキャッチコピーとして自立した地域づくりを進めてきました。

質 処理について

質問 村はゴミ処理を近隣自治体をお願いするとのことでしたが、その後の状況について伺う。

答 機会があることに口頭でお話しさせていただきましたが、今年3月には要望書を提出いたしました。前向きにどのお話は何っておりますが、もう少しお時間をいただきたいということです。

質 関係人口について 地域外の人材が地域づくりの担い手として期待されている「関係人口」の認識につい





相良 弘 議員

質 帰村者の村内交通対策について

答 交通体系の整備を早急に検討する

質問 過般の一般質問において、デマンド交通導入について質問したが「国並びに県とも相談の上検討したい。」という回答だったが、その後の経緯について伺う。

質問 近隣市町村の事例を参考に、デマンド交通など交通体系の整備を早急に検討します。コミュニティバスの運行についてもバスでは

人口が少なく、予算的にも支出が多くなりま

す。今、村で運行している患者バス等を活用し対応していきたいと考えております。



▲村民の大事な足のコミュニティバス

質 働き方改革に伴う村の対応について

質問 働き方改革はさまざまな改革があるが、村ではどのような改革を実施しようとしてい

るのか伺う。

質問 働き方改革はさまざまな改革があるが、村ではどのような改革を実施しようとしてい

るのか伺う。

質問 働き方改革はさまざまな改革があるが、村ではどのような改革を実施しようとしてい

質 「まてい館」の対応について

質問 日本では史上初と言われる10連休がありました。村では道の駅「まてい館」での受け入れ、対応についてどのような方法をとったのか。10連休の入り込み数、イベントの開催について伺う。

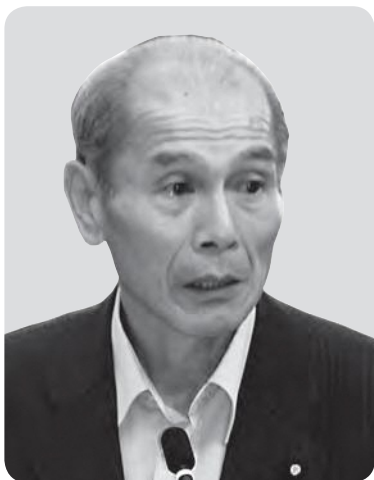
質問 日本では史上初と言われる10連休がありました。村では道の駅「まてい館」での受け入れ、対応についてどのような方法をとったのか。10連休の入り込み数、イベントの開催について伺う。



▲道の駅「まてい館」の連休の様子

障はないか。

質問 売り上げ増にはイベントが非常に重要と考える。連休中の催事を見ると、食事に例えれば主食が無い。副食だけである。



長正 利一 議員



▲不通話地域(須萱地区)

質 携帯電話不通話地域の解消について

答 不通話地域解消に向けて、国や福島県と連携して取り組んでいく

質問 帰村しても携帯電話が使用できず、日常生活に不便との声が聞かれるが、携帯電話不通話地域は何か所存在し、また、解消に向けて村はどのような取り組みを行うのか伺う。

答弁 平成30年度に各行政区長に調査依頼しており、20行政区の内10行政区290世帯で、帰還困難区域の長泥行政区を除くと、9行政

区215世帯となっております。

不通話地域解消に向けては、福島県に対して4月まで調査結果を報告しており、今後、福島県から携帯電話事業者各社に不通話地域改善を要望し、国に対しては、5月末に東北総合通信局、福島復興局に対し、財政支援と携帯電話事業者への働きかけを要望したところ

です。

また、携帯電話事業者に対しては、5月中に行政区での調査結果を提出し、改善に向けた要望を行っております。

なお、今年度中に小宮行政区夏井地区内にKDDI(au)が基地局を1基設置する予定です。今後も解消に向けて国、県と連携して取り組んでまいります。ある程度戸数が増え、とまらないと採算性の問題でなかなか業者の取組みもできないというところもありますので、まとまって10世帯前後の不通話のところがある

れば、早目に業者に要望してまいります。

質問 解消に向けての計画予定について住民へ周知すべきではないのか。

答弁 調査結果については不透明なところがいっぱいありますので、もう少し調査して、どういう対応ができるのかも含めて、遠くない時期にお知らせしたいと考えております。

公用車の燃料補給スタンドについて

質問 公用車輛の台数と、給油指定業者はどのような要件が必要なのか伺う。

答弁 給油を必要とする車輛は、普通車・軽自動車36台、消防車22台、バス11台、トラック・特殊用途車32台あり、全体で101台保有しており、常時給油を必要とするのは普通自動車や軽自動車の36台、

バスや特殊用途車の22台を含め、58台です。

公用車の燃料補給要件については特には定めておらず、村内の納入業者と村とで石油製品の納入方法や単価等について、年度当初に単価契約を交わした業者から購入している状況であります。

なお、村内には給油所が3店舗ありますので、ガソリン単価等がおなじであれば、公用車の給油については、できるだけバランスを考え、対応してまいります。

おかえりなさい補助金について

質問 おかえりなさい補助金の申請件数と、補助金ほどのような基準に基づいて支給しているのか伺う。

答弁 6月12日現在、516件の申請があり、511件交付している

ところです。

補助金交付の基準としては、「飯館村おかえりなさい補助金交付要綱」に定める、対象者の要件に該当することが必要となり、申請時に審査し判断しております。

基準については、まず村外の避難先から退去し、村内の住宅に移転及び居住していること。次に、これまでに当該補助金の交付を受けていないことと、村税を滞納していないこと。

さらには、平成28年7月1日から令和2年3月31日(来年の3月末日)までの期間内に移転が完了していることが要件となっております。

質問 期間延長はしないのか。

答弁 皆さま方のそれぞれの判断を仰ぐことが大切ではないかと考えており、今年度限りとさせていただきます。



佐藤 健太 議員

質 第6次総合振興計画について
答 飯館村総合振興計画策定委員会を組織し、令和2年9月定例会に提案する予定

質問 第6次総合計画策定にあたっての具体的な進め方を伺う。

答弁 15名程度で飯館村総合振興計画策定委員会を組織し、下部組織として4つの分科会を設置して具体的な検討を進めていきたいと考えております。また、それぞれの組織には村民各層からメンバーに入っていたり考えで、令和2年8月までに、

計画案を作成し、飯館村振興計画審議会に諮問し、審議会からの答申を得た後、9月定例議会に提案する予定となっております。

質問 より多くの方に係わっていただく為に、

専門部会4部会をより細分化して細かい区分けでもう少し綿密に議論を進めて行くべきではないか。

答弁 組織が10も15も

となると、まとめるのが難しくなってくるので、組織の細分化はこれ以上広げるのはなかなか大変ではないかと思っております。

専門部会の中で1回に限らず若い人や女性の皆さんや保護者の皆さんの話を、それぞれの部会の中でまとめていく考え方が良いのではないかと考えております。

様々な世代の意見を反映させるために、今回意向調査を行うに当たっては、前回までは世帯主へのアンケートでしたが、今回は一人一人全員からアンケートをとる予定としております。

学校教育について

質問 飯館村の学校の教育目標と教育ビジョンは何かを伺う。

答弁 はじめに学校教

育ビジョンについて、教育委員会では、平成31年度飯館村学校教育ビジョンを「よりよい『未来』を自分たちの力で創ることが出来る子ども」としています。

教育目標は教育ビジョンのもと、教育委員会では「その子にしかない その子の光を見つけ より輝かせる教育」を指す教育としています。また、「感謝し『光』を見つける教育」、「すべての子どもに対する特別支援的な教育」、「価値創造的な教育」、「こども園・小中一貫教育」を4つの柱とし、学校教育を進めて行くこととして

います。また、令和2年4月に義務教育学校が予定されていますので、現在の教育ビジョン、目標をふまえながら、「子どもたちの自己実現」を目的とした9年間を

見通した教育や、今の小中各校のよさをつむぎ、人・地域・自然との共育を通して生きる力を育む教育など、さらに新しい理念や目標、しくみを取り入れた村の学校教育を進めたいと考えております。



▲元気に遊ぶ認定こども園の子供達

高齢者支援に

質問 今後、益々高齢化が進む本村で、自動車運転免許証を返納される方、返納せざるを得ない方が増えてくる

事が予想される。車社会の本村において、免許を返納する事は、生活面での不便さが増えたり、家族の負担が増える事にもつながるが、村としての対策を伺う。

答弁 運転免許証の自主返納者に限らず、交通弱者と言われる高齢者などの足の確保は重要な課題であります。現在実施している「地域お助け合い事業」や「村内巡回バス」の運行体系の見直し、タクシー業者との連携など、専門家の助言を得ながら、多面的な方向からの検討を行い高齢者の足の確保に努めてまいります。





高橋 和幸 議員

質 農業・畜産の実情と課題 について

答 積極的な施策展開を図って参 りたい

質問 農業等従事者の今後の意欲促進と産業発展の為に新たな支援策拡充を考えているのかを伺う。

答弁 飯館村営農再開ビジョン（生業・生きがい）事業の展開をしてきました。今後も、県や国の支援を活用し、意欲ある担い手、農業経営体の支援強化をしていきたいと考えております。水田、牧草や

作付の推進と、花卉の販路確保、和牛繁殖、営農再開、新規定着を進めて参ります。

林業再生について

質問 村内木材の伐採、売買等は林業従事者の悲願であるが、放射能汚染問題に阻まれている。県、国、東京電力等と如何なる解決策を模索していくのか伺う。

答弁 森林再生を目的として、森林再生事業と共に、村内の材積量、放射線の空間線量等の基礎調査を実施している。モデル事業の成果にも期待しており、村内林業従事者の為にも重要課題と認識している所です。今後も議会と共に考えて行きたいと思っております。



今後の農業コンセン

質問 被災地の特殊性払拭の為、GAP、ISO認証取得を推奨するが、行政の観点を伺う。

答弁 少量生産の村の現状においては、取得の必要性は考えておりません。顔の見える消費者との信頼関係に重点を置いていきます。

質問 少ないからとか初めから固定観念で、狭い視野から脱却できないのでは時代に乘れない。安易と言わざるを得ない。

GAP認証で、食の安心・安全を日本のみならず、世界に証明できる。行政にはもう少し勉強を促す。

答弁 言葉の選択を間違えたと思います。今は生産関連を増やすことに傾注しますが、将来の目標にはGAP取得もあると考えています。

協定コンセン

質問 村と協定している大学及び企業の実績、活動状況と進捗状況を

村民の福利厚生の何に活かされているのかを伺う。

答弁 大学が8件、企業が2件と協定を結んでいます。地域産業、文化振興、学習支援や人材育成等で活動して

います。村民所得の向上と福祉向上につながるように努めてまいります。

村内施設の防犯対策について

質問 村内における今後の防犯強化策、マニュアル策定、徹底周知、行政体制を伺う。

答弁 学校の防犯マニュアルはあるが、自治体、公共施設には義務付けられていないこともあり、作成しておりません。

再質問 帰還三年目の自治体に防犯マニュアルがないのは如何なものか。早急なる対策を願う。現在、昔流行したポケベルが、山間部

や過疎地にて、高齢者向けに利用されるなど様々なシステムを導入し、防犯対策に役立てている自治体も見受けられる。

携帯電話や電柱よりも電波は強く、有事の際も利用できよう。村民の安全確保の為に導入の検討をすべきと考えるが。

答弁 どのようなシステムなのか、調べて導入について検討していきます。





高橋 孝雄 議員

質 有害鳥獣駆除隊員の委嘱について

答 県猟友会飯館支部から推薦を受けた方を村が委嘱している

質問

震災後増えたイノシシや猿などを駆除する駆除隊員は、村内の狩猟免許取得者全員に活動していただきたいとお願いしていますがその後どのようになっているのか。

答弁

有害鳥獣の捕獲隊員の選定は、福島県猟友会飯館支部から推薦を受けた方を村が委嘱しております。

震災前の平成22年度

中の21名の方を推薦しています。

活動としては隊員同士の情報共有、申し合わせ事項の確認などを協議するために月1回の定例会、また、二人一組で週3回パトロールを行い、5月末までには103頭のイノシシを捕獲しました。

年々イノシシや猿などの頭数が増えている中、鳥獣被害対策捕獲隊員を増やすことも重要と考えております。

ただ一方で、銃の取り扱いは法によって厳しく規制されており、猟の事故防止や安全対策も重要でありますので、引き続き福島県猟友会飯館支部と協議させていただきます。ひとりでも多くの方で有害鳥獣対策を実施してまいりますのでご理解をお願いします。



▲荒らされた畑の状況

質問

狩猟免許を持っている方は当然厳しい条件や指導をクリアして銃の所持許可証をいただいている訳であり、なぜ、21名だけでなく25名全員できないのか。

答弁

猟友会から推薦されて選ばれているのが現在の対策隊員というところでありますので、改めてほかの方も全てということになります。と、猟友会の運営にも影響を与えかねません。例で申し上げますと以前銃の管理について指摘されて一度免許取り消しになった方もいると聞いております。

そういったことも踏まえた上で推薦をいただいで、そして、選定をしているということでありますのでご理解をお願いします。

質問

私もこの問題3回目の質問になる。今までの2回は振り返ってみますと当り障りのない回答をいただいていたような気がしますので、今回だけははっきりとした答弁を願う。

答弁

もう一度猟友会の皆さんに全員でやることにはならないのかどうかをお話しします。その結果、どういう形でその3人が入らないのか、あるいは入らないようにしているのか、その辺はまたお話をさせていただきます。

荒廃した建物の解体について

質問

昨年度議員一同が上京し、環境省にお

いて聞いた限りでは、村からの要請があれば壊すことができるという話であった。道路沿線の荒廃家屋について早期解体の方策について伺う。

答弁

環境省の被災家屋解体の趣旨を踏まえた事業制度上、所有者不明の家屋、あるいは申請されていない家屋については村からの要請があっても解体を実施することはできない事業となつておりますのでご理解をお願いします。



▲解体を必要とする建物

審議結果

平成31年第3回（4月）臨時会では予算案件4件、条例案件2件、その他（契約の承認）案件7件が提案され、審議の結果は下記の通り議決されました。

議決された案件は下記の通りです。

- 予算案件 1 平成31年度飯館村一般会計補正予算(第1号)**
プレミアム付商品券管理システム等、既定予算総額に1,577万6千円を増額補正
- 予算案件 2 平成31年度飯館村簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)**
県道工事に係る補償工事設計業務に、既定予算総額に292万円を増額補正
- 予算案件 3 平成31年度飯館村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)**
県道工事に係る補償工事設計業務に、既定予算総額に462万8千円を増額補正
- 予算案件 4 平成31年度飯館村介護保険特別会計補正予算(第1号)**
国庫支出金返還金に、既定予算総額に2,504万6千円を増額補正
- 条例案件 1 飯館村税条例等の一部を改正する条例**
寄附金税額控除の見直し、住宅借入金特別控除期間の拡充 非課税措置対象の拡充、軽自動車税のグリーン化特例の見直し
- 条例案件 2 飯館村国民健康保健税条例の一部を改正する条例**
基礎課税限度額を61万円(改正前58万円)とする等
- その他案件 1 大師堂住宅団地住宅建設工事請負契約について**
関場建設株式会社と2億3,220万円で契約する(落札率 99.1%)
木造平屋建て12戸、駐車場24台、来客用駐車場4台
- その他案件 2 第1号 村道舗装機能回復工事請負契約について**
庄司建設工業株式会社と2億7,324万円で契約する(落札率 98.8%)
草野飯樋線・関沢白石線・伊丹沢線、施工延長 4,089.1m
- その他案件 3 第2号 村道舗装機能回復工事請負契約について**
関場建設株式会社と8,748万円で契約する(落札率 99.3%)
深谷飯樋線、施工延長 1,701.1m
- その他案件 4 第3号 村道舗装機能回復工事請負契約について**
庄司建設工業株式会社と1億7,820万円で契約する(落札率 98.5%)
赤宇木高畑線・大火比曾線、施工延長 3,256.4m
- その他案件 5 第4号 村道舗装機能回復工事請負契約について**
後藤建設工業株式会社と6,264万円で契約する(落札率 98.7%)
百目木比曾線、施工延長 989.5m
- その他案件 6 第5号 村道舗装機能回復工事請負契約について**
横山建設工業株式会社と6,199万2千円で契約する(落札率 98.9%)
豊栄佐須線、施工延長 1,221.0m

○その他案件7 第6号 村道舗装機能回復工事請負契約について

滝建設工業株式会社と7,927万2千円で契約する(落札率 96.9%)
比曽線、施工延長 1,292.4m

令和元年第4回(5月)臨時会では その他(契約の承認)案件6件が提案され、
審議の結果は下記の通り議決されました。

議決された案件は下記の通りです。

○その他案件1 深谷地区多目的交流広場整備工事請負契約について

関場建設株式会社と7億4,520万円で契約する(落札率 99.7%)
雨水排水整備・園路広場整備・遊具組立設置・植栽・屋内運動施設等工事

○その他案件2 飯舘村役場庁舎改修工事請負契約について

庄司建設工業株式会社と1億670万4千円で契約する(落札率 98.8%)
役場庁舎外壁・屋根・雨樋等改修工事、議場空調設備改修工事等

○その他案件3 飯舘村活性化施設(いちばん館)機能回復工事請負契約について

庄司建設工業株式会社と9482万4千円で契約する(落札率 99.1%)
空調設備・照明設備・外壁等改修工事

○その他案件4 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性汚染物質拡散防止対策
工事(入山田・山田地区)請負契約について

滝建設工業株式会社と6,156万円で契約する(落札率 98.8%)

○その他案件5 災害関連農村生活環境施設復旧事業・福島再生加速化交付金事業
農業集落水管路工事(草野第1地区・草野1期②)請負契約について

荏原実業株式会社 東北営業所と1億5,768万円で契約する(落札率 98.3%)
深谷字原地内・草野字本町地内・草野字沢目木地内ほか

○その他案件6 深谷復興拠点備品(深谷多目的交流広場設置備品の取得について

有限会社アカデミアと1,650万円で契約する(落札率 97.1%)
ブロンズ製ベンチ1脚

令和元年第5回(6月)定例会では 予算案件5件、条例案件4件、その他案件3
件が提案され、審議の結果は下記の通り議決されました。

議題は下記の通りです。

○予算案件1 令和元年度飯舘村一般会計補正予算(第2号)

農業振興費、道路維持費等のため、既定予算総額に8億6,200万3千円を増
額補正

○予算案件2 令和元年度飯舘村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

保険税減免のため財源更正

○予算案件3 令和元年度飯舘村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

簡易水道監視設備等整備事業を2ヶ年継続事業とするため、既定予算総額
から1億8,238万4千円を減額補正

- 予算案件 4 令和元年度飯舘村農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)**
 県道工事に係る物件移設等補償工事等のため、既定予算総額に6,393万5千円を増額補正
- 予算案件 5 令和元年度飯舘村介護保険特別会計補正予算(第2号)**
 保険料免除とすることができる国県補助が決定となったため財源更正
- 条例案件 1 飯舘村国民健康保険税条例の一部を改正する条例**
 基礎課税額、後期高齢者支援金等課税額及び介護納付金課税額について、税率及び軽減額を改正
- 条例案件 2 東日本大震災に伴う国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例**
 保険税について減免の延長をするため
- 条例案件 3 東日本大震災による被災者が属する世帯の第1号被保険者に対する介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例**
 保険料について減免の延長をするため
- 条例案件 4 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例**
 災害援護資金について保証人を立てる場合は無利子、保証人を立てない場合は1.5%の貸付け率
- その他案件 1 メモリアルホールいいたての指定管理者の指定事項の変更について**
 「ふくしま未来農業協同組合」から「株式会社JAふくしま未来サービス」に変更
- その他案件 2 相馬地方広域市町村圏組合規約の変更について**
 共同処理事務に基幹相談支援センターに関することを追加
 (これにより事務による負担金も追加)
- その他案件 3 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性汚染物質拡散防止対策工事(外内地区)請負契約について**
 株式会社 小野中村と1億4,148万円で契約する(落札率 98.9%)

○請願審査結果

請願第2号

- ・日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書について

総務文教委員会に付託され、結果は「不採択とすべきもの」との委員長報告があった。

審議結果は下記の通り

○は賛成、×は反対を表しています。議長は採決にかかりません。

議案名	議員氏名								賛成	反対	審議結果
	佐藤 健太	長正 利一	佐藤 一郎	高橋 孝雄	高橋 和幸	渡邊 計	佐藤 八郎	相良 弘			
請願第2号	×	○	○	○	○	×	×	○	5	3	可決
討 論		賛成		賛成		反対	反対	賛成			

採決の結果、請願第2号は不採択と決定しました。

議会の主な動き(4～6月)

《4月》

26日

- ・議会運営委員会
- ・全員協議会

《5月》

8日

- ・総務文教常任委員会
所管事務調査

13日

- ・復興対策特別委員会
所管事務調査

22日

- ・町村議会広報研修会

30日

- ・第4回臨時会本会議



▲福島第一原発視察の様子

《6月》

7日

- ・議会運営委員会

11日

- ・全員協議会
- ・第5回定例会本会議
(開会)

13日・14日

- ・各常任委員会
- ・本会議(一般質問)

18日

- ・議会運営委員会
- ・全員協議会
- ・本会議
(議案審議・閉会)

特別委員会の活動

東京電力福島第一原子力発電所事故災害特別委員会所管事務調査

令和元年5月13日に東京電力福島第一原子力発電所、廃炉資料館の見学並びに廃炉作業状況について所管事務調査を行いました。

●調査内容

原発事故の記録、東電の反省、廃炉計画、廃炉作業の状況について視察、聞き取りを行いました。

〈まとめ〉

・長期にわたる廃炉作業ですが、前回視察時よりも格段に前進している現場を確認できました。

・高線量箇所もまだ存在しているため、作業員の健康に万全の体制で臨むよう求めました。

常任委員会の活動

総務文教常任委員会所管事務調査

令和元年5月8日に南相馬消防署飯館分署の状況と今後の課題について。移住・定住・交流事業の実績と今後の課題について所管事務調査を行いました。

●調査内容



▲南相馬消防署飯館分署視察

1. 飯館分署長より震災前と震災後の火災と救急の状況把握と課題調査のため施設の視察と、聞き取り調査を行いました。

2. 総務課長等から移住・定住・交流事業を1年間実施しての実績と課題について聞き取り調査を行いました。

〈調査結果〉

1. 飯館分署
・震災前より震災後は、火災の件数減っているが、最近では車両火災が増えている。
課題としては、消防団が機能しにくい
ため震災前分担任して行っていた火災予防活動などが出来なく

なっており、大変困っている。

2. 移住定住交流事業
・1年間の移住者は20数名。空き家バンクの登録件数は家屋解体の影響もあり少ない状況。補助金目あてに転入するケースも見られる。

〈所見〉

1. 飯館分署
・消防団員が不足しており、十分な協力が得られないので企業への協力依頼を進めるべきである。

・分署の倉庫内に消防団の大切な物品が置かれていたので、別に倉庫を設置すべきではないか。

2. 移住定住交流事業
・移住定住交流事業・商業施設、介護サービスが充実しなければ移住者は増えないのではないか。
・補助事業を受ける際の審査を慎重にすべき。

編集後記

福島第一原子力発電所を視察・調査を行って改めて放射能の恐ろしさを肌で感じて来ました。

廃炉が完了するまで何十年もかかると思われます。国も福島特措法を検討しているところですが、この法案成立を村議会も願っているところですが、そして、森林の再生を含む飯館村の復興・再興を進めなければなりません。村民の皆様方のご鞭撻の程をお願い致します。

発行責任者

議長 菅野 新一

編集

広報編集特別委員会

委員長 相良 弘
副委員長 佐藤 健太
委員 渡邊 計
高橋 孝雄
長正 利一
佐藤 一郎